

八幡平市から生まれた オリンピック



チーム一丸でつかんだ表彰台

小林 陵侑 選手 団体・銅



スキージャンプの競技会場で、市民の応援メッセージが書かれた日の丸国旗を掲げる佐々木市長（2月14日、イタリア・ブレダツツォ・スキージャンプスタジアム）

- 土屋正恵選手**
- ◇ クロスカントリ
 - ▼ 個人
 - ▽ 女子スキーマスロン(10キ×10キ) 35位
 - ▽ フリー(10キ) 26位
 - ▽ マスタートクラシカル(50キ) 23位
- 小林陵侑選手**
- ◇ ジャンプ
 - ▼ 個人
 - ▽ ノーマルヒル 8位
 - ▽ ラージヒル 6位
 - ▼ 混合団体 3位 日本(丸山希、小林陵侑、高梨沙羅、二階堂蓮)
 - ▼ 男子スーパーチーム 6位 日本(二階堂蓮、小林陵侑)



大会の全日程を終え、混合団体に獲得した銅メダルを手に、笑顔を見せる小林選手

ミラノ・コルティナ2026 冬季オリンピックで躍動



(写真) Sipa USA/時事通信フォト

土屋正恵 選手

3種目を
戦い抜く

50キロクラシカル
出場した五輪の個人種目で自己最高の23位



土屋選手に宛てたメッセージを応援旗に書き込む安代小の児童たち



クロスカントリスキー10*フリー競技で会心の滑りを見せ、ガッツポーズする土屋選手



五日市振興協議会が看板を設置するなど、地域が一丸となって土屋選手を応援しました

2月6日から22日までミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開かれ、本市出身の小林陵侑選手がスキージャンプ競技に、土屋正恵選手がクロスカントリスキー競技に出場しました。

市は2選手へ応援の声を届けようと、1月28日から2月6日までの期間、市役所に、日の丸に応援メッセージを記す寄せ書き用の旗を設置。市民からの応援メッセージを募ったほか、小林選手の母校である柏台小、松尾中、土屋選手の母校である安代小、安代中の児童生徒も応援メッセージ旗を制作しました。

応援メッセージ旗に託された市民の熱いエールは、家族や関係者の手によって会場で広げられ、4年に一度の大舞台に臨む両選手へと届けられました。